

## 茅ヶ岳 & 金ヶ岳山山行報告

【山行日】2020年7月12(日) 曇り時々晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 4:00

【費 用】マイカー1台 : 3,300円

【メンバー】CL:鈴木、 SL:大西、安西、島田、  
関、福島、松館、渡辺

【コースタイム】岩舟支所 P4:00=深田記念公園

P6:05/6:25~女岩 7:50~茅ヶ岳 9:00/9:10~

金ヶ岳 10:10/10:20~茅ヶ岳 11:25/12:00~

深田記念公園 14:00/14:15=岩舟支所 P16:55

山行アンケートで日本百名山の著者「深田久弥」

終焉の山、茅ヶ岳に登りたいとリクエストがあり計画した。朝4:00に岩舟支所を出発し、圏央道から中央道を走り韮崎ICで降り、登山口の深田記念公園Pに着く。深田記念公園の駐車場は広く、立



派なトイレが整備され登山者にはとてもありがたい。トイレを済ませストレッチを行って出発し、駐車場北側の道路を進むと登山口になる。右に広い道を進み、赤松やカラマツ林の中を緩やかに登って行く。途中、舗装道路を横切り、涸れ沢沿いの道を行き大きな岩がある場所で小休止する。衣服調整と水分補給を行い、さらに石ころ道を登るとロープがあり右の斜面を登るようになる。急な斜面を九十九折れに登り、左下に見える岩が女岩のようだ。女岩を巻くように登り、大きな岩から水が流れ落ちる音が聞こえてくる。急坂を

九十九折れに登って行くが、自然林の中を心地よく登って行く。一步一步ゆっくりと高度を上げて行き、稜線のコルへ出ると風がとても気持ちよい。

コルで小休止し涼しい風に癒され、果物や梅干をいただく。コルから左に少し登ると、深田久弥終焉の地に着く。小さな石碑が建てられて、造花が数本あげられていた。徳ちゃんが百名山完登のお礼にと持参した花を手向け、記念写真を撮って山頂に向かう。

ここからは息をつく間もない急登が続き、しかも岩稜の道なのでスリップに注意し慎重に登る。コアジサイやガクアジサイの花に励まされひたすら高度を稼いで登り、傾斜が少し緩くなり前方が開けてくると茅ヶ岳山頂に着く。山頂からの展望は素晴らしく、南に富士山が大きく聳え、南アルプスの峰々が見渡せ皆さんから歓声が上がる。





八ヶ岳や金峰山は雲に覆われてみる事が出来ないが、梅雨のさなかにこれだけの眺望を得られ



れば満足である。山頂で眺望を楽しみながらメロンや菓子をいただき、急登で疲れた体をゆっくり休める。ここからさらに茅ヶ岳山塊最高峰の金ヶ岳をめざし、北へ延びる稜線を下って行く。コナラの尾根を急降下し、石門をくぐると登りになり高度を上げて行く。観音峠からの道を右に分け少し登ると南峰に出て、少し下って登り返すと金ヶ岳山頂に着く。こちらの方が茅ヶ岳より60mほど高いが、ミズナラやモミの木で北から西方の展望が遮られる。それでも富

士山や南アルプスの山々はしっかり見えるのがとてもうれしい。富士山を見ながらパイナップルや菓子を食べ、アヤマやイブキトラノオなどのお花も見られる。展望を楽しんだら往路を戻り、茅ヶ岳まで戻るが登り返しが結構きつい。金ヶ岳まではコースタイム通りに歩けたが、茅ヶ岳への戻りはコースタイムを15分オーバーした。ようやく茅ヶ岳に戻ると驚いた。山頂は登山者で溢れ、

昼食を食べる場所を確保するのも大変。東側に少し降りた所に陣取り、うどんを作ってランチタイム。キノコうどんとおにぎりに、ピーミソやフキの煮物などが並び、豪華なランチを楽しんだ。もう一度富士山バックに記念写真を撮り、山頂を後にする。下山は南の尾根を下り、すぐ先で千本桜公園への分岐を左に進み尾根を真っ直ぐ下って行く。途中、地元の幼稚園児の集団登山グループが下山しており、ゆっくりペースにお付き合いさせられたが、途中で道を空けてもらい無事登山口駐車場へ着いた。駐車場に着くと近所の人、手作りジャムの無人販売があった。ブルーベリージャムが3瓶で1000円と超お買い得。ジャムをゲットし靴を履き替え、トイレを済ませたら帰路につく。



中央道から圏央道を進み、狭山PAに寄って買い物し無事岩舟支所に帰着した。

